

## 4期目に向けた町政運営について

この度の町長選において、岡田町長は圧倒的多数の町民の支持を得て4選をされた。

町長はまちづくりの基本理念として、町民が主役となり、信頼関係のもと町民と役場が役割を分担し、町民目線でまちづくりに取り組むとともに4つの基本姿勢として、「安心・安全」「公正・公平」「一体感の醸成と均衡ある発展」「協働のまちづくり」を掲げておりますが、改めて4期目に向けた町政運営に対する決意を伺う。

町長は公約の基本として、(1)自然とともに生きる環境にやさしいまちづくり、(2)農業を核に競争力のある産業のまちづくり、(3)笑顔ゆきかう健康とやすらぎのあるまちづくり、(4)文化の香るこころ豊かな学びのまちづくり、(5)ともに考えともに創る活力あるまちづくりの五つの政策目標を示しているが、その中で、具体的な政策について伺う。

- ①人口対策と定住促進。
- ②子どもの医療費無料化の拡大。
- ③コミュニティバスの運行。
- ④安心・安全なまちづくり・役場庁舎の安全性について。



庁舎建設に関する特別委員会で協議している役場庁舎

①人口対策と定住促進。  
②子どもの医療費無料化の拡大。  
③コミュニティバスの運行。  
④安心・安全なまちづくり・役場庁舎の安全性について。

口流出を食いとめるための定住促進策は、喫緊の課題であると認識している。

企業誘致の推進、雇用対策、住宅対策、生活交通対策など、町とでき得る限りの効果的な対策を複合的に展開していくため、庁舎内に検討委員会を設置し、速やかな施策の実施に取り組んでいきたいと考えている。

②特に住民要望や親からの助成拡大を求める声が大きかった子供の医療費について、「本年10月から、小学校卒業までの無料化」を実施

**町長** ①国では、人口減少が一層深刻な地方圏を対象に、都市機能を有する中心市と周辺自治体とがスクラムを組み、地域が持続的に発展していくための方策として「定住自立圏構想」が提起され、現在、十勝19市町村が実現に向け、取り組んでいる。

② 昨年の国勢調査では、旧幕別町地域が、人口増から減少へと転じ、これ以上の人口

し、子育て世代の経済的な負担を軽減することにした。

③今年度、庁舎内に地域公共交通確保に係る検討委員会を設置し、本格的な協議に向けての調査、検討を進め、年度内には、北海道をはじめ、関係する交通事業者、運輸局や住民の代表等で組織する「地域公共交通確保維持改善協議会」を設立し、検討をいただきながら、コミュニティバスの運行のあり方などの住民アンケートやコミュニティバスの実証運行での利用者意向調査などを行った後に、本町におけるコミュニティバスを含めた地域公共交通のあり方について一定の方向性を見出ししていきたい。

④役場庁舎は耐震診断で、大地震が発生した場合の安全性が確保されない結果となり、庁舎内部で検討を進めてきた。問題点を総合的に判断して、新庁舎を建設する方向で、内部で検討を続けている。

庁舎建設に当たり、合併特例債の充当を見込み、H27年度中の完成を目的に、新庁舎建設の基本的な考えをまとめ、議員の皆さんと協議を進めていきたい。